

2023年度 安全報告書

ご挨拶

平素より宮島松大汽船をご利用いただき誠にありがとうございます。

当社は、宮島町と宮島口を結ぶ、一般旅客定期航路事業を営んでおり、島民の生活航路として、また、宮島観光に訪れる人々に対する交通手段として、高い公共性を有する海上運輸機関であります。

当社の経営方針は、お客様に安全で快適な船旅をお約束することにより、社業の発展に努め、社会に共通の利益を提供することにあります、なかでも「安全運航」の確保は、当社の公共交通機関としての第一の使命であり、最大のサービスであります。

このサービスを継続するため、以下の「安全方針」を策定し、これを「経営トップのリーダーシップ」の下で全社員一丸となって徹底して実行することにより、輸送の安全を確保いたします。

さらに、この安全管理体制を十分機能させるため、経営トップを中心に安全推進委員会を年3回実施しており、安全上の監視を怠らず、必要に応じて問題点の把握・分析を行い、改善策を的確・迅速に実行し、全社員1人1人に安全意識を浸透させることにより、揺るぎない安全を構築してまいります。

これからも当社をご利用いただきますようお願いいたします。

2023年4月

宮島松大汽船株式会社

代表取締役社長 倉本 照明

安全方針

1. 安全は輸送義務の最大の使命である。
 2. 安全の確保は、規定の理解と遵守、執務の厳正から始まり、不断の修練によって築きあげられる。
 3. 確認の励行と連絡の徹底は、安全確保に最も大切である。
 4. 安全の確保のためには、職責をこえて一致協力がなければならない。
 5. 疑わしいときは、順序や方法など手順を十分考えて、最も安全と認められる行動をとらなければならない。
-

2023年度 安全重点施策

1. 目標

- (1)「安全方針」により全社員1人1人が「海難事故ゼロ」を目指します。
- (2) 経営管理部門と乗組員及び陸上員の安全意識の向上に努めます。
- (3) 関係法令及び安全管理規程の遵守に努めます。

2. 施策

- (1) 安全運航に関する教育、研修の場として、安全推進委員会を年3回実施します。
 - (2) 総合訓練を年1回実施します。
 - (3) 経営管理部門と乗組員との面談を実施し、コミュニケーションの確保に努めると共に安全方針について理解度、浸透度の把握を行います。
 - (4) 新型コロナウイルス感染予防対策を行います。
 - (5) 宮島航路運航事業者と安全協議を行います。
-

2022年度 安全重点施策の結果報告

1. 海難事故 0件
 2. 経営管理部門と乗組員による、安全推進委員会を年3回実施
(1) 実施日
2022年4月21日 コロナ感染予防の為、資料配布とした
2022年8月5日 コロナ感染予防の為、資料配布とした
2022年12月19日 出席人員23名(広電宮島口駅2階会議室にて実施)
 3. 総合訓練 2022年6月16日「伊都岐」消火訓練、旅客避難誘導訓練 31名
 4. 経営管理部門と乗組員の面談 2022年5月13日～6月10日 26名
 5. AED講習 2023年2月15、16、17日 59名
 6. 接遇マナー研修 2022年11月8日～11日 69名
-

2022年度 運輸安全マネジメントレビュー会議の結果報告

運輸安全マネジメントレビュー会議(2023年4月7日)を実施し、2022年度安全重点施策を見直し、2023年度安全重点施策の年間計画を作成した。

計画内容

1. 安全推進委員会を年3回実施。(4月、7月、12月)
 - ・安全運航に関する教育、研修を実施
 - ・経営管理部門より乗組員への情報伝達ならびに意見交換の実施
2. 総合訓練の実施(6月)
3. 経営管理部門と乗組員との面談の実施(5月～6月)
4. 経営管理部門による訪船を年3回実施(4月、7月、12月)
5. AED講習(6月)及び接遇マナー研修(10月)の実施

改善報告 2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)

1. お客様の声

宮島棧橋連絡橋の鉄板に段差があり躓(つまづ)くので、ゴムマットをひいたらどうか。

(2022.6)

陸側から連絡橋への鉄板にゴムマットをひきました。(2022.6)

PASPY(パスピー)が2025年3月末でサービスを終わると発表されたが、どうすればよいのか。

(2022.7)

PASPY(パスピー)は2025年3月末でサービスを終了する予定ですが、その後は、広島電鉄が開発する新乗車券システムの導入に向けて検討しています、なお ICOCA(イコカ)をはじめとする全国相互利用が可能な交通系ICカードについては今後も利用可能です。(2022.8)

松大船伝統の「水色」が「紺色」に変わった。見た目、暗い感じがする。少しでも水色を残すデザインはできないか。(2022.8)

伝統の「水色」ですが、新造船「伊都岐」の船体デザインにより紺色にイメージを変更し、両サイド防舷材のこすれも目立たなくなりました。次回、全塗装時に考慮させていただきます。(2022.11)

2. 安全推進委員会の意見(改善)

汽船「厳島」のゲート付近にて雨の日お客様が転(ころ)んだり滑ったりしたことがあった。危険なので対策をお願いします(2022.8)

ゲートや棧橋の敷鉄板に滑り止め塗装を行いました。(2022.9 完了)